

Rock The Life! ezorock

2013.10
vol.18



道内13か所で子どもたちと夏休みを過ごしました。
7月27日～8月25日実施
ふくしまキッズ(北海道プログラム)

夏期林間学校2013(北海道プログラム)にて、127名のボランティアが活動を行いました。子どもたちは福島県から273名が参加し、全道13ヶ所で活動。リピーターも多く子どもたちの成長を感じることが出来ました。各地でお世話になったみなさん、ありがとうございました。

本事業は、NPO法人北海道NPOファンド、赤い羽根共同募金の助成金を受けて行いました。



森の中に眠る「未利用材」の搬出が終わりました!

7月～10月実施 プロジェクトNINOMIYA

30cmに切った玉材を人手でトラックに積み込み、石狩にある「はるきちオーガニックファーム」に運びました。10月からはその玉材を斧で割って、「薪」にする活動を行っています。未経験の方でも楽しく活動できます。一緒に楽しく薪割りしましょう!

地域のお祭りでも大人気!

6月～9月実施 レコードシェアリング「RECO」

篠路、幌北、澄川の地域のお祭りにてレコードのブースを出店し、そこに来た人の思い出話を聞きながらレコードをプレゼントしました。レコードを手にとった人は皆嬉しそうに帰って行き、それを見たボランティアも思わずにっこり。地域の人々の笑顔が垣間見える活動となりました。



年間16万人が訪れる、旭岳の約5合目地点、姿見散策路において、コアスタッフのたけ、さん、じょーが中心となり、ボランティアは延べ98人、全8回の活動が終了しました。北海道の最高峰旭岳の美しさを堪能し、この自然を残し続けるということは具体的にどうということなのか、汗を流して学びました。NPO法人ねおす 大雪山自然学校 旭岳自然保護監視員のみなさん、ありがとうございました。



本事業は、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成金を受けて行いました。

今年の活動が終わりました。
6月～10月実施 大雪山国立公園 旭岳自然保護活動



RSR2013 EarthCare Report
生ごみの80%は水分です。

RSRの環境対策活動で初めて「生ごみの水切り」をテーマに活動を実施!今回はその取り組みについて特集します

今月の写真

8月に行われた、RSR2013での環境対策活動の様子。
写真撮影:今 佐結奈(こんちゃん)、戸高 元太郎(げんちゃん)

このニュースレターはボランティアスタッフが1枚1枚折っています。

代表の小言
ラジオ体操の
コミュニケーションがすごい!
最近、毎朝6時に起床して、6時30分に近くの公園で行われている「ラジオ体操」に参加している。あのラジオ体操。誰もが知っている国民的な運動だ。最初は運動不足を解消するためであったが、参加しているうちに、このコミュニケーションが実はものすごく素晴らしいことに気がついた。始まるまでの数分間、集まった人たちの間で情報交換が行われている。内容は料理から孫の話までと様々。実に面白い。このコミュニケーションに入るには、入会手続きも、会費もいらない。ただ、朝6時30分にラジオ体操が行われている場所に行くだけ。こんなに開わりやすいコミュニケーション、他にあるだろうか?そんなコミュニケーションに興味がある。先日の大阪出張の際に、大阪城会場で参戦してみたが、参加者500人越えはまさにラジオ体操イベントに参戦した。地域の関係性が希薄で、「なんて記事をよく見かけるが、コミュニケーションなんて探せば日常のいたるところにある。大切なのは参加する一歩が踏み出せるかどうかだ。いろいろなる場所、「コミュニケーションづくり」を目的とした新たな試みが行われているが、既存のコミュニケーションに参加してみるのもいいかもしれない。
代表理事 草野竹史

NPO法人 ezorock 会員向け情報誌 vol.18 2013.10
Rock The Life! ezorock

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7
TEL/FAX 011-562-0081 E-mail info@ezorock.org
WEB http://www.ezorock.org/

http://www.facebook.com/ezorock/ http://twitter.com/ezorock/



NPO法人 ezorock
http://www.ezorock.org/

生ごみの80%は水分です。

新たなスタートに立った環境対策の取り組みをレポートします。

RISING SUN ROCK FESTIVAL2013 in EZO(以下、RSR)での環境対策活動も今年で14回目を向かえました。

今年は、生ごみの水切りをテーマに活動を展開。

昨年のRSRで出た生ごみの量が、過去最高の16tを記録しました。また、RSRの会場だけでなく、日常においても家庭ごみの約3割を生ごみが占めているという現状があります。(出典:平成24年度札幌市家庭ごみ組成調査)

しかし、生ごみの約80%は実は水分なのです。私たちは水分をごみとして捨てています。

生ごみに水分が多く含まれると、腐敗による異臭が発生する・運搬に余計なコストがかかる・燃焼に必要なエネルギーが増えるなどのデメリットもあります。このような生ごみの水分の問題を解決するため、RSRの活動で初めて、「水切り」をテーマにしたキャンペーンを実施しました。

これまで、4つの部門「オリジナルごみ袋の配布・ごみの分別ナビゲート・ecoアクションキャンペーン・オーガニックじゃがいもの配布」が連動して取り組んだことはありませんでした。今年は生ごみの水切り方法やその重要性を来場者により確実に届けるため、「From Festival To Your Kitchen!? ~生ごみ水切りキャンペーン~」を共通のキャッチフレーズとし、4つの部門が初めて連動して取り組みました。



今年のテーマは

From Festival To Your Kitchen!?

—生ごみ水切りキャンペーン—

水切りキャンペーンができるまで 事前準備



2012 12月
昨年12月から、2013年度のRSR2013を含む環境対策活動に取り組むEarthCareチームの会議がスタート。



2013 4月
ボランティア募集も始まり、RSRへ向けて会議も毎週実施。



6月
本番へ向け、活動に必要なスキルやチームビルディングを構築するため合宿を実施。



7月
生ごみの重量削減方法として、家庭でも取り組みやすく札幌市でも推奨している「水切り」を選択。メインターゲットを30代女性に決定(決定理由:RSR来場者で一番多く見られる年齢層であり、家庭ごみと接点の多いため)。また、各部門の制作・準備が本格化。



「キッチン」をイメージしたオリジナルごみ袋・ボランティアスタッフTシャツのデザインを制作。缶バッジは水切りをイメージ。

水切りキャンペーンができるまで 活動当日

1 入場ゲートで情報の発信

オリジナルごみ袋の配布 (担当:千葉達也/chitta)

入場ゲートを通った来場者に、水切りキャンペーンについての内容がデザインされたオリジナルごみ袋とパネルを使い、キャンペーン情報を発信しました。水切りキャンペーンの出発点として、会場をみんなできれいにするキッカケになるように、古々米で作られているごみ袋をより多く配ることが配布の役割でもありました。水切りについて興味を持った来場者が、ボランティアスタッフの説明に深く感心しているのが印象的でした。



2 ごみ箱で合い言葉をGET!!

ごみの分別ナビゲート (担当:品木梨乃/りの)

生ごみを持ってきた来場者に水切り方法を伝え、実践してもらいました。水切りをした来場者には合言葉「生ごみの80%は水分」を伝え、ecoアクションキャンペーンブースへの参加を勧めました。当日降った雨には苦戦しましたが、ボランティアから来場者に積極的に呼びかけを行い、「やってみたい」と興味を持って水切りをしてくれる来場者もいました。



3 水切りプログラムを実践

ecoアクションキャンペーン (担当:小林彩佳/きん)

ecoアクションキャンペーンブースにて、「生ごみの水切り」をテーマとしたプログラムと、資源分別を行いました。ごみ箱で合言葉を聞いて来てくれた来場者にはノベルティをプレゼントし、じゃがいもの無料配布への参加をおすすめしました。来場者の声の中には、生ごみの水分量への驚きや、家庭で実践してみたいといった感想があり、発信したメッセージを来場者がしっかり受け取ってくれたと実感しています。



4 食べて実感してもらう

オーガニックじゃがいも配布 (担当:吉田侑久/ゆうや)

「From Festival To Your Kitchen!?!」というキャッチフレーズのもと、来場者に会場から出る生ごみの量が毎年12~15tであることを伝え、その生ごみを有機堆肥化し、それを利用して育てたじゃがいもを配布しました。また、日常では実感しづらい「ごみのリサイクル」をわかりやすく伝えるため、畑での1年間の活動をパネルで展示しました。参加した来場者からは「自分で出した生ごみがこんな風にリサイクルされていて驚いた」という声もあり、食べものの大切さや、ごみを減らすことについて考えるきっかけを共有できたのではないかと思います。



水切りキャンペーンの結果

オリジナルごみ袋配布枚数 44,000枚
ecoアクションキャンペーン 1,101人
(ごみ箱でGETした合言葉を言った人 17人)
オーガニックじゃがいもの配布 180人



参加した方からは、「今度からCDで水切りをしようと思った」「都会で一人暮らしをしていて、いつも生ごみのにおいに困っていたのでご参考になった」という声をいただきました。私たちが伝えたメッセージは、家庭に持ち帰ってもらうことができたようです。今年回収した生ごみは、オーガニックファームで堆肥化され、来年、美味しいじゃがいもになって戻ってきます。

RSR2014へ向けて堆肥化ツアー実施



来年のRSRに向けて、今年出た生ごみを堆肥化するツアーを実施しました。石狩市内の池端牧場さんで生ごみに牛糞・もみ殻・微生物を加え、それを同じ石狩市内にあるはるきちオーガニックファームに運びました。

簡単! 水切り方法をご紹介します

